

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	秘書政策課 秘書広報担当
------	--------------

事務事業名	広報広聴推進事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	④ みんなで創るまちづくり	款	2	総務費	
	基本目標	8. 市民参画・協働のまちづくり	項	1	総務管理費	
	施策	8-1 市民参画と協働の推進	目	2	企画広報費	
	基本方針	8-1-1 市民活動への支援	事業	1	広報広聴推進事業費	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	広報誌や新聞・ラジオ放送・SNS等を利用し、市の施策や情報を幅広くかつ正確に市民に伝え、市民との情報の共有化や市政への理解を図る	事業の内容	毎月5日発行の「広報こまつしま」をはじめ、市HP・SNS、新聞、テレビ、ラジオ等のメディアを通じて市内外に向けて情報発信を行う。また、アンケート等を通じて、市政モニターから市の事業等について意見を聴取し、市民のニーズ把握と意見反映に繋げる。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標
			R1	R2	R3	R4
	広報「こまつしま」配布率	%	目標	100	100	100
	指標の説明 全世帯に対する配布状況（率）		実績	100	100	
関連事業費			R1年度決算	R2年度決算	R3年度予算	市民一人あたりのコスト
	財源内訳	事業費	15,644,303	14,412,953	16,247,000	R1 414
		国県支出金				R2 387
		地方債				各年度4月1日現在の人口
		利用者負担・その他				R1 37,795
一般財源	15,644,303	14,412,953	16,247,000	R2 37,243		

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡充	縮小して継続	判定理由 市内全戸に配布しており、市民の認知度が高い広報誌や、市外の住民にも情報発信でき、本市のPRにもつながられる新聞・ラジオ等の媒体、迅速に情報を伝えられるSNS等、それぞれ特性の異なる媒体を活用することにより、幅広い情報発信に努めている。
		改善・効率化し継続	休止・廃止	
		現状のまま継続	完了	

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	既に利用していたフェイスブックに加え、令和2年度には、ツイッター、インスタグラム、ユーチューブでの情報発信を開始した。SNSでの情報発信の機会が増えていることから、発信された情報に対するユーザーの反応の分析や、SNSを利用した企画作りなどに取り組み、より効果的な情報発信に努める必要がある。
今後の方向性	現在情報発信で利用している各種情報媒体を引き続き活用するとともに、多様化しつつある市民の情報に対するニーズの把握に努め、SNSを使った企画の立案など、さらなる広報活動の工夫を図る。